

「加古川の外から内へ」

株式会社ナインワーカーズ 代表取締役 佐藤 正巳



TEL: 079-451-7551

営業内容: Web制作・運営



「こんにちは！ かがわノートです！」
お店やイベントの取材に伺ったの第一声。その反応で取材がスムーズに進みそうかどうか分かります。ご存じの方も増えてきましたが、まだまだ知らない方も多く、ウエルカムな雰囲気が始まる現場ばかりでもありません。明け透けに言えば不信感を抱かれていることをひしひしと感じることも。そんな日はなかなか大変です。

『かがわノート』は、加古川市内のことを中心に記事を書いていくウェブメディアです。取り上げるのは、新しい店舗の開店情報や市内で開催されるさまざまなイベント、加古川市の動きなど。加古川市民が興味を持つようなネタを日々探し回っています。メディアとはいえ、中身は私ひとり。属人的な部分が大いにあります。

実は私の出身は徳島県。吉野川が紀伊水道に流れ込む河口に面した小さな町で育ちました。国道沿いに店が立ち並び、その裏にはすぐ田んぼが広がる風景は加古川に似たものがあります。大学から神戸に移り、結婚を機に加古川に住むことに。それが14年ほど前のことです。最初は右も左も分からず、知り合いは妻を経由した人ばかり。お世辞にも馴染んでいたとは言えません。転職が訪れたのは2019年11月のこと。Webサイト作成事業の一環として『かがわノート』を始めました。

取材先の発掘のため、少しでも地元の仕事者と交流したいと考え、商工会議所の門を叩きました。40歳目前でしたが青年部にも誘っていただき、現在も活動しています。

それから約4年間、少しずつ知り合いが増え、加古川にも詳しくなってきました。

最初は傍観者、観察者のような立場のフラットな目線で記事を書いていたように思います。外から来た人間だからこそ客観的に捉えられるのではないかと。そう考えていました。

今でも説明でよく使う比喩が「かがわノートは拡声器やメガホンでしかありません」というもの。商品やサービス、イベントの情報を届けるお手伝いはできて、実質以上のものには見

せられない。良いものなら市民に受け入れられて残る。逆もまた然り。知っている人を増やすという一点で『かがわノート』はお役に立てます。

そんな風に思っていました。加古川市内を飛び回っているうちに、自分に変化していることに気づきました。単純接触効果という心理学の用語があります。CMで何度も顔を見るタレントに自然と好感を持つような人間の特性を指す概念です。

記事のために加古川市内の変化に注目しているうちに、それが働くのは自然な流れだったのかもしれない。

加古川の良いところを加古川市民にもっと知ってもらいたいし、誇りに思っていてほしい。そんな風に当事者として考えるようになってきました。

ミイラ取りがミイラになるではありませんが、加古川を知ろうとしすぎて、加古川に染まってしまっていたらしいのです。

外からではなく内側の人間として、実際のものより良く見せることができたいのは変わりませんが、裏側にある想いを汲み取るような記事ができれば、『かがわノート』として付加価値を出せるのではないかと最近では考えています。

メディアとして、こういう仕事だからこそできるような加古川への貢献を模索しつつ、メガホン以上の価値を目指して、これから市内を走り回っていきます。取材でお目にかかる際にはどうぞお手柔らかに。